

# Pictet Global Market Watch

## 米国経済成長のカギを握るテキサス州

米国一の産油量を誇るテキサス州の経済が、米国全体の経済成長に与える影響が年々高まっています。このことは、米国経済が原油価格動向に影響されやすくなることも意味しており、注視が必要と考えます。

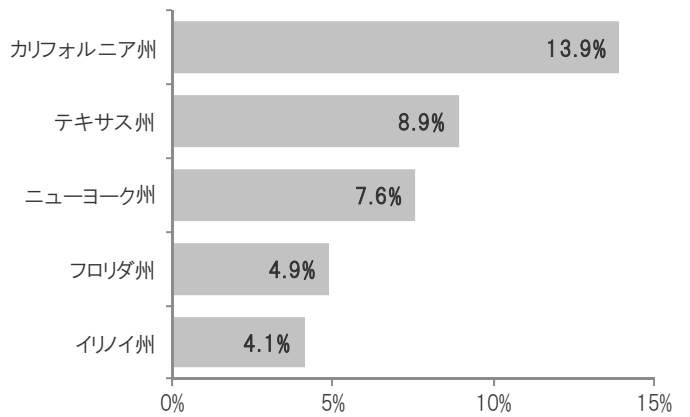
米国のGDP(国内総生産)に占める各州の割合をみたとき、テキサス州はカリフォルニア州に次ぐ2番手ですが、2010年代のエネルギーブームを経て、いまや米国の経済成長における主要なけん引役となっています。

ここ数年の原油価格の上昇・下落のなかで、原油価格の上昇はテキサス州の経済に大きなプラスの影響をもたらしました。その結果、ガソリン価格の高騰による家計への打撃にもかかわらず、米国経済全体にとってもプラスとなったのです。しかしながら、米国経済がテキサス州の原油への依存度を増していることはリスクでもあります。予期せぬ原油価格の暴落が起きた場合には、米国経済を危機にさらすことになると考えられます。

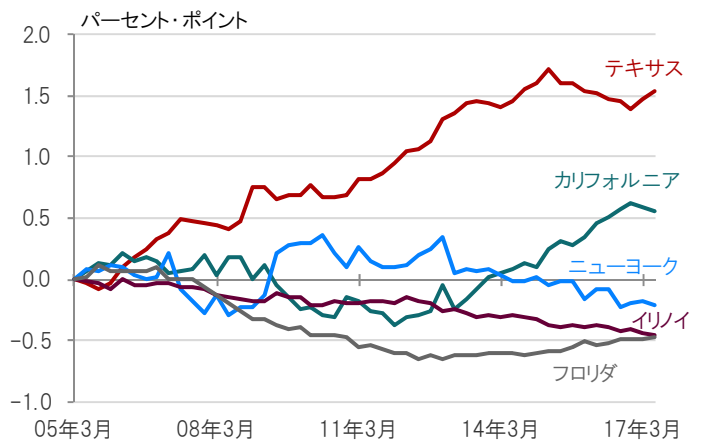
米国GDPにおける州別シェアのトップ5は、カリフォルニア、テキサス、ニューヨーク、フロリダ、イリノイです(図表1参照)。米国経済のテキサス州への依存度の上昇は、同州のシェアが2005年1-3月期の7.4%から2017年4-6月期の8.9%へと拡大していることに見取れます。同期間において、シリコンバレーブームに支えられたカリフォルニア州のシェアは、わずか0.6%しか伸びていません。また、イリノイ州とフロリダ州はそれぞれシェアを0.5%減らしており、ニューヨーク州も0.2%減少しています。(図表2参照)

2005年から2017年4-6月期までの期間、米国経済の成長率は1.6%(年率)でしたが、テキサス州はその約2倍となる3.2%(同)の成長を遂げており、カリフォルニア州の1.9%(同)をも上回っています。テキサス州の原油生産量は、2010年から2015年までで3倍に増加しました。2017年4-6月期のテキサス州のGDP成長率は2.9%(前年同期比)となり、米国全体の2.2%(同)、カリフォルニア州の2.6%(同)をとともに上回っています。今年2017年もテキサス州は堅調な成長を示しており、最近の米国経済の急激な改善を説明する一役を担っています。

図表1:米国GDP 州別シェアのトップ5  
時点:2017年4-6月期



図表2:トップ5州のGDPシェア  
2005年からの変化幅推移  
期間:2005年1-3月期~2017年4-6月期



出所:ブルームバーグのデータを使用しピクテ投信投資顧問作成

※将来の市場環境の変動等により、当資料記載の内容が変更される場合があります。

### 当資料をご利用にあたっての注意事項等

- 当資料はピクテ投信投資顧問株式会社が作成した資料であり、特定の商品の勧誘や売買の推奨等を目的としたものではなく、また特定の銘柄および市場の推奨やその価格動向を示唆するものではありません。
- 運用による損益は、すべて投資者の皆さまに帰属します。
- 当資料に記載された過去の実績は、将来の成果等を示唆あるいは保証するものではありません。
- 当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成されていますが、その正確性、完全性、使用目的への適合性を保証するものではありません。
- 当資料中に示された情報等は、作成日現在のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。
- 投資信託は預金等ではなく元本および利回りの保証はありません。
- 投資信託は、預金や保険契約と異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の対象ではありません。
- 登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- 当資料に掲載されているいかなる情報も、法務、会計、税務、経営、投資その他に係る助言を構成するものではありません。